



21世紀を主体的に生きる！ 総合学科

兵庫県立太子高等学校は昨年創立50周年を迎えました。総合学科として14年。聖徳太子ゆかりの地で、自ら学び続ける姿勢を追い求め、常に進化し続けています。

《教育目標》

本校の主要な教育目標は自ら学び続ける生徒を育てることです。その目標設定の土台には本校が総合学科高校として蓄積してきた社会と教育に対する見方や生徒の学習に対する考え方があります。本校はこの目標を達成するためのカリキュラムを「太子メソッド」と名づけています。

《今年の太子高校は可能性に挑戦する！》

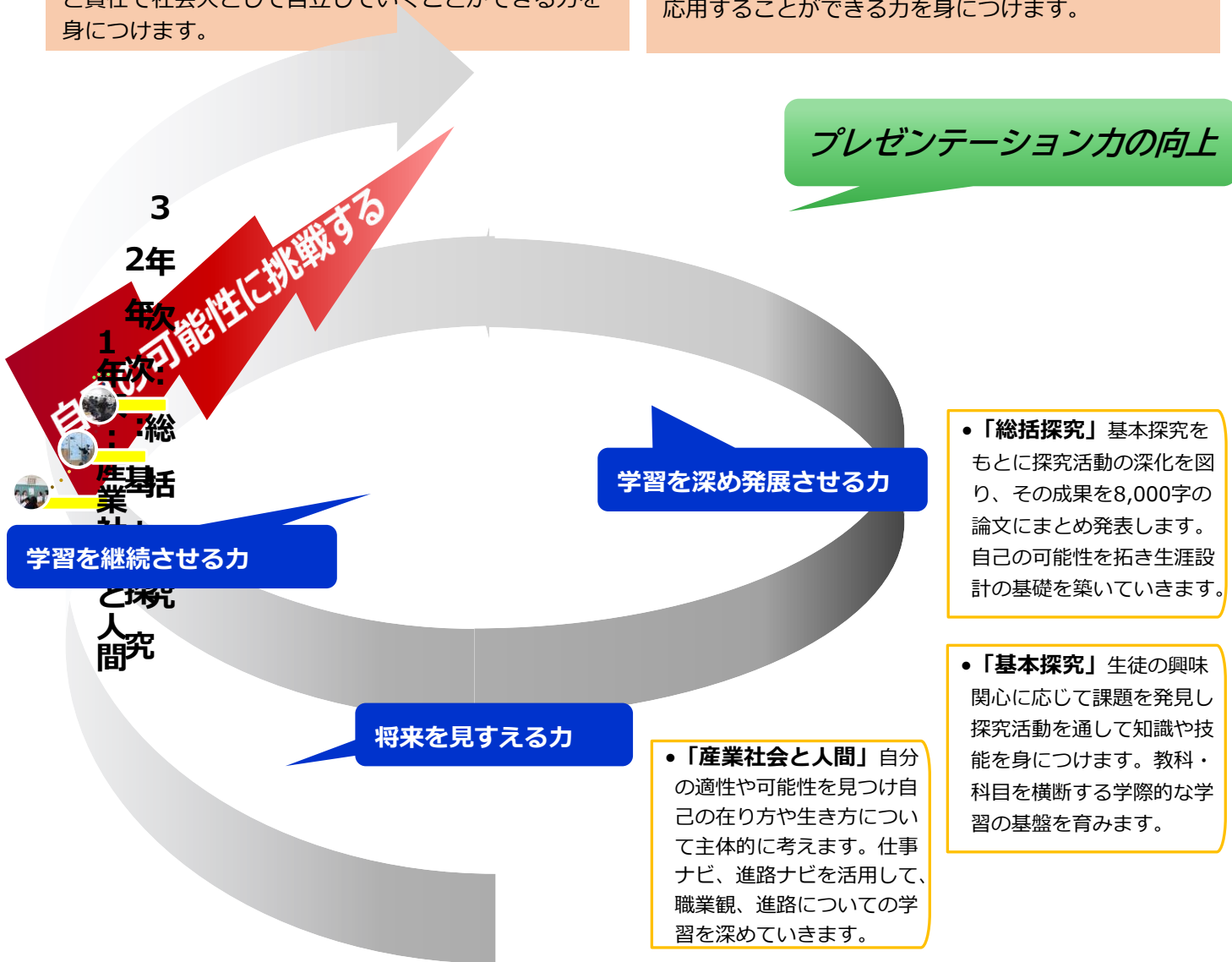
1. 「キャリア教育」の推進

様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、自らの意思と責任で社会人として自立していくことができる力を身につけます。

2. 「確かな学力」の育成

身につけた知識・技能を活用して自ら課題を解決し、応用することができる力を身につけます。

プレゼンテーション力の向上



- 「総括探究」基本探究をもとに探究活動の深化を図り、その成果を8,000字の論文にまとめ発表します。自己の可能性を拓き生涯設計の基礎を築いていきます。

- 「基本探究」生徒の興味関心に応じて課題を発見し探究活動を通して知識や技能を身につけます。教科・科目を横断する学際的な学習の基盤を育みます。

- 「産業社会と人間」自分の適性や可能性を見つけ自己の在り方や生き方について主体的に考えます。仕事ナビ、進路ナビを活用して、職業観、進路についての学習を深めていきます。

令和元年度合格体験記より



『自分で道を開く』 前川歩 《愛媛大学法学部》

私は高校入学当初の希望進路は就職でした。しかし高校3年間の部活動や学校生活で刺激を受け、高校教師になる夢を持ち進学することに決めました。愛媛大学を推薦で受験しようと思ったのは小論文と面接と書類で合否が決まるものだったからです。この受験方法なら合格できるチャンスがあると思いました。

自分で進路を決めてからの受験勉強はすごく大変でした。部活動で主将を務めており、定期テスト期間中も大会に向けての練習、推薦入試の勉強に加え各科目の勉強もしながらの日々でした。休み時間は面接に向けて自分の考えをまとめ、放課後は面接練習をしました。大変な日々でしたが先生や友達の声をかけてくれ乗り越えることができました。後輩の皆さん、自分が頑張れば結果はついてきます。太子高校で自分の進路や夢に向かって頑張ってください。



『不撓不屈の精神』 黒田菜月 《西はりま消防組合》

私が消防士になることは幼い頃からの夢でした。大学進学が消防士になるか迷っていた時期が長く、受験すると決心したのは3年の8月でした。私が「受験する」と担任の先生に伝えると「10時間勉強しないと間に合わない」と言われました。家ではなかなか集中出来なかったので完全下校まで学校に残りその後は太子町の庁舎で勉強をしました。毎日少なくとも7～8時間多い時には10時間程度しました。高校の先生には論文の添削や面接の指導もたくさんして頂きました。最後に私は意志、つまり気持ちが大切だと思います。自分の努力次第で人は変わることができます。そして努力は結果として自分に返ってきます。後輩の皆さんも自分を信じて物事に取り組んでみてください。応援しています。